

留 学 報 告 書

記入日:2015年8月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部地域行政学科
留学先国	シンガポール共和国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: シンガポール経営大学 現地言語: Singapore Management University
留学期間	2014年8月～2015年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2015年5月24日
明治大学卒業予定年	2017年3月



留学先大学について			
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他		
学年暦	1 学期:8 月～11 月 2 学期:1 月～4 月		
学生数	正規学生 8,000 名 (本年度交換留学生用 FB ページには 570 名)		
創立年	2000 年		
留学費用項目	現地通貨 (SGD)	円	備考
授業料		0 円	大学間協定校留学のため
宿舍費		450,180 円	\$610*9
食費		221,400 円	\$300*9 朝食は寮で提供される。 飲み会代等は除外。
図書費		0 円	基本的に PDF として参考文献等配布される。
学用品費		0 円	
教養娯楽費		0 円	
被服費		0 円	
医療費		19,440 円	ビザ用健康診断費(日本)
保険費		92,480 円	形態:明治:海外旅行保険プラン5(11ヶ月)
渡航旅費		66,725 円	JPY41,100 往路 JPY26,625 復路
雑費		24,600 円	Miscellaneous fee \$300
その他		9,840 円	JPY2,500(30) Processing Fee JPY7,400(90) Issuance Fee
その他		78,000 円	交通費(バス)片道約\$3
合計		962,665 円	この合計金額は、留学に際して必要な最低経費であり、その他通信費(携帯電話料金等)、交際費、旅費(観光)等を考慮に入れると、+¥300,000 ほどであると考えられる。 また、本年は為替レートが不安定であったため、合計費用が多少低く計算されている可能性がある。 *為替レートはその都度変動しているため、参考の合計金額は日本円のみで算出。 SGD1 ≒ JPY82 *収入 \$6,500 TEMASEK FOUNDATION ¥800,000 JASSO 奨学金 ¥300,000 明治大学助成金 日本から 500,000 円を現金で持参。

渡航関連

渡航経路: 往路: HND-SHA-SIN(China Eastern Airlines) 復路: SIN-KUL-NRT (Air Asia)								
渡航費用 <table border="1"> <thead> <tr> <th>チケットの種類</th> <th>Economy class</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>往路</td> <td>JPY 41,100</td> </tr> <tr> <td>復路</td> <td>JPY 25,625</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>JPY 66,725</td> </tr> </tbody> </table>	チケットの種類	Economy class	往路	JPY 41,100	復路	JPY 25,625	合計	JPY 66,725
チケットの種類	Economy class							
往路	JPY 41,100							
復路	JPY 25,625							
合計	JPY 66,725							
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。								

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など) EVEN HOSTEL(大学提供の寮)
2)部屋の形態 <input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)

3)住居を探した方法:
大学の提供
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
寮(EVAN HOSTEL) 寮に申し込めるかどうかはその年度によって異なります。以前までの情報では COMMONWEARTH というところだったが、今年度はここでした。大学側も最初は「今年は寮を留学生に提供できるかわからない」と言っていました。が、突然何の前触れもなく「先着順で寮の申込を受付けます」とのメールを頂きました。そのとき家で昼寝をしていた(午後 7 時。笑)私は、完全に遅れました。
起床後すぐに申し込み(できるものなら寮に入るのが正解だという情報を耳にしていたため)先着順の申込に何とか間に合ったものの(開始わずか 3 時間でおそらく定員超え)、実際あまり魅力的と思われた(写真を見る限り、古い! 2 人部屋にもかかわらず部屋が極端に狭い! 色々とルールがある! そんなに学校から近いわけでもないし、かといって激安なわけでもない!)、自分で探した民間の学生寮に前期間だけ泊まるとりあえず様子を見ることにしました。
…のつもりが、出国直前に SMU より奨学金プログラム合格の通知が来ました。そのプログラムを受けるには必ず大学の寮に住む必要があったため、やむを得ず EVAN HOSTEL に決めました。やはり当初の予想通り狭い・古い・不便な寮でした。
日本からの交換留学生の約半数が当寮に泊まっていました。最も多くの交換留学生が集まっているため、利便性を重視しない方は寮を選ぶと、友人がでやすいと思います。
現地情報
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?
<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した: 明治大学と同様キャンパス内に診療所があり、学生証を見せることで無料で診察を受けることができます。対応も待ち時間も薬の効き目も問題なく、非常に安心できました。シンガポール国内各地にある提携病院でも無料で診察を受けることができます。
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
Buddy Programme という交換留学生 1 人に対し正規の学生が一人ついていただき、自由に色々質問や要望を聞いてもらった。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
シンガポールは比較的安全な国なので、最低限の注意をすることで犯罪に巻き込まれるということはありませんでした。
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
寮(EVAN HOSTEL)の WIFI は設定等必要ありませんでしたが、スピードが非常に遅く、動画は止まることが多くて、視聴できません。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
現金を日本円で ¥500,000 持って行き、クレジットカードで払えるものはクレジットカードで、その他は現金で支払いをしました。寮費等はクレジットカード決済ができます。 現金は、日本円で寮に保管しておき、シンガポールドルが手元に少なくなったと思ったタイミングでレートも気にしつつ両替していました。 銀行口座の開設は、OCBC(オーバーシー・チャイニーズ銀行)で行いました。必要なものは、パスポートと Student Pass、現地の携帯番号で、無料かつ所要時間も 30 分程度、場所も大学キャンパスの地下にあるので問題なく開設できるのではないかと思います。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。
日本で使用している携帯電話は SIM フリーでないものが多く、シンガポールで使用するには新たに SIM フリーの携帯を購入する必要があります。こちらでも購入することができますが、日本から持っていくのもありだと思います。私は SMU 近くの FUNAN という電化製品店で NOKIA のスマートフォンを約 S\$240 で購入しました。 事務室から頂ける留学ハンドブックなるものには、荷物は最低限であとは現地調達がいいと書かれていますが、個人的に消耗品に関しては、日本から持っていくことをオススメします。日本に置いていってもダメになるし、現地で購入すると質が悪かったり、日本のものは割高だったりします。また、日本から持っていくって、1 年間の留学で使わなかったようなものは今後日本でも使う可能性は低いと考えられますので、シンガポール出国時に捨ててしましましょう。

進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 手前味噌で恐縮ですが、SMU 交換留学生は就職活動に非常に強いと感じました。 交換留学していた同期のうち、今年就職活動した友人たち(就職活動が終了していた4年生含)は、三菱商事 3 名、新日鉄 1 名、SMBC 1 名、デロイト 1 名、キッコーマン1名(計7名)に内定しました。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
4 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 6 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Integrated resort management	インテグレートリゾート経営
科目設置学部・研究科	Global Student Programmes
履修期間	Term 1
単位数	-
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&実習
授業時間数	1週間に 210 分が 2 回
担当教授	Prof. Annie Koh
授業内容	Inculcate students from Singapore Management University (SMU) and Japanese universities with a global perspective and Asian values of cooperation and collaboration. Provide participants with the ability to understand the new business realities and changing dynamics. Provide participants with insights to propose customer-centric innovations that will create value for organisations.
試験・課題など	最終日にグループプレゼンテーション
感想を自由記入	毎週金曜日に 3 時間 30 分の授業が午前・午後に 2 回。それが 6 週(不定期)続きます。 日本でカジノ経営を視野に入れている Singapore のリゾート経営企業(GENTING)と SMU の共同プロジェクトですシंगाポール人の友人、教授との非常に良好な関係を築くことができます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):										
UMN010: GOVERNANCE OF ETHNIC RELATIONS IN SINGAPORE	シンガポールにおける民族政策										
科目設置学部・研究科											
履修期間	Academic Year 2014/15, Term 1										
単位数	1										
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)										
授業形態	講義										
授業時間数	1週間に195分が13回										
担当教授	Eugene KB Tan, Associate Professor of Law										
授業内容	<p>Singapore has been touted as a success story in the maintenance of stable ethnic relations in Singapore. Despite its beginnings as an improbable nation-state, Singapore's economic success has been dependent on political stability, of which the absence of overt ethnic conflict is fundamental. Yet, stable and meaningful ethnic relations cannot be left to chance. Indeed, a very deliberate and conscious effort, requiring a mixture of laws, institutions, mechanisms and political leadership and will, is needed to maintain ethnic relations in Singapore.</p> <p>This module seeks to understand and to critically examine the policy and legal framework for the management of ethnic relations in Singapore. Laws alone are manifestly inadequate in maintaining peace on hot-button issues of race, language, and religion.</p> <p>The course, which is inter-disciplinary in nature, will also examine the political framework in place that complements the legal and policy infrastructure. Comparative studies will be done, where applicable, to articulate the key themes and issues.</p> <p>At the end of the course, students will be better placed to appreciate the strengths and weaknesses of the Singapore approach to the management of ethnic relations.</p> <p>Please note that this is a reading intensive course, and requires extensive writing as well.</p>										
試験・課題など	<p>Individual assessment components will account for 75% of the final grade. The components of each student's final grade are as follows:</p> <table border="0"> <tr> <td>・Class participation</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>・Group oral presentation</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>・Group written report</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>・Individual research paper (IRP)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>・Oral presentation of IRP</td> <td>10%</td> </tr> </table>	・Class participation	15%	・Group oral presentation	10%	・Group written report	15%	・Individual research paper (IRP)	50%	・Oral presentation of IRP	10%
・Class participation	15%										
・Group oral presentation	10%										
・Group written report	15%										
・Individual research paper (IRP)	50%										
・Oral presentation of IRP	10%										
感想を自由記入	<p>政策系の授業だが、教授が法学系だったため、語学の面で非常に困難が伴った。また、履修生の多くが正規学生で、シンガポールの民族政策に対してある程度の理解があり、なおかつ自らがその影響を受けている立場の者が多く、授業の内容についていくのが大変だった。</p>										

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
OBHR001 LEADERSHIP AND TEAM-BUILDING	リーダーシップ論
科目設置学部・研究科	The Lee Kong Chian School of Business
履修期間	Academic Year 2014 /15 Term 1
単位数	1
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 195 分が 13 回
担当教授	Kan Siew Ning, Management Consultant & Trainer
授業内容	<p>All SMU students are required to take Leadership and Teambuilding (LTB) as part of the University core.</p> <p>This course provides students with knowledge and skills about effective leadership and teambuilding based on principles, concepts, application cases, exercises, and self-assessments that are designed to develop competencies around leadership and teamwork. Central to the course is a Leadership Moments (LM) Case Project. The project is designed such that students have to work in teams to collect data about a leader of their choice, analyze leadership moments in the context in which it occurred, and using leadership and team-building concepts taught in the classroom, find alignment or exceptions to the LM case. The project culminates in a class presentation and a case study report written about that leader.</p> <p>The overall objective of LTB is to build students' competencies that will help them develop their own leadership traits and value system, and through the various LTB activities, hone them to become more effective leaders. LTB will also help students understand the factors of effective leadership, accurately assess their own strengths and weaknesses as leaders, and develop a personal plan for leadership development, going forward.</p>
試験・課題など	<p>Cumulative assessment (CA) for LTB constitutes 100% of the final grade, consisting of:</p> <ol style="list-style-type: none"> Individual Assessment: 60% of total, consisting of <ul style="list-style-type: none"> - Class Participation 20% - Leadership Assessment & Development Plan 20% - QUIZ 19% - OB Research Participation (see note (*) below) 1% Group Assessment: 40% of total, consisting of <ul style="list-style-type: none"> - Case Analysis 15% - Leadership Moments (LM) Case Study Presentation 10% - Leadership Moments (LM) Case Study Report 15%
感想を自由記入	<p>奨学金受領に際し、必修のため履修。 教授が日本に対してあまり良いイメージを持っていない印象を受けた。</p> <p>明治政経にはない、リーダーシップを座学で学ぶ授業。興味のある方は是非履修を。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ACCT 004 Accounting Fraud in Asia	アジアにおける会計不正
科目設置学部・研究科	School of Accountancy
履修期間	2014/15 Term 2
単位数	1
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 195 分が 13 回
担当教授	KEE Koon Boon
授業内容	<p>When accounting frauds and financial failures pop up as what appear to be rather sudden surprise while the most recent financial statements indicate a sound condition, accounting loses their legitimacy and effectiveness. Information may be used to inform or deceive.</p> <p>From the disappearing cash in Chinese firms and Korean chaebol (conglomerate) business owners expropriating assets with sweetheart deals to enrich themselves, to elaborate pump-and-dump schemes fashioned by Asian “insiders” who “tunnelled out” or expropriated assets via artful accounting transactions prevalent in the Asian business context, businesspeople and investors attracted by the headline-grabbing macroeconomic growth story are bitten by the “Asian snake” whose underlying accounting risk at the firm level seems to be different as compared to western firms. Despite scrutiny by regulatory authorities and media, there are bouts of recurrence with the modus operandi of the fraud perpetrators seemingly more complex and sophisticated each time round. In the end, it seems that the “Asian snake” is ahead of the curve in the capital jungle and usually wins.</p> <p>Question: Why are western-based financial statement analysis, red flags, checklist, fraud detection tools and techniques inadequate in analyzing and detecting accounting fraud in Asian companies? Some of the world’s most thoughtful investors, including the Norwegian sovereign wealth fund who managed over \$880 billion in assets, pointed out that they have learnt painfully that the set of governance and accounting risk is different in Asia as compared to the West in their decade-plus experience of investing in emerging markets and in Asia. There is a critical thinking and technique gap in misgovernance and fraud detection for Asian companies.</p>
試験・課題など	<p>Task Weighting</p> <p>Group Project (Case Writing) and Presentation 30%</p> <p>Individual Project and Presentation 30%</p> <p>Website Participation 20%</p> <p>Individual Essay Critique 10%</p> <p>Class Participation 10%</p> <p>TOTAL 100%</p>
感想を自由記入	<p>教授がとてもフレンドリーで親しみやすい。ただ授業自体は、会計の授業を一通り履修した生徒向け(3,4年生用)のため、専門知識の点で困難が伴った。</p> <p>留学で最も良い成績をとれた科目。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
HUMN015 Global-City Stage - Singapore in the World, the World in Singapore	現代シンガポール論
科目設置学部・研究科	
履修期間	2014/15 Term 2
単位数	1
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義
授業時間数	1週間に 195 分が 13 回
担当教授	Arnoud De Meyer, President, SMU
授業内容	<p>Singapore has risen from Third World to First in less than half a century of rapid development. The course analyses this extraordinary transition from a variety of perspectives and disciplines. It examines the city-state's ties in the region and with the wider world. It looks in particular at how Singapore's domestic priorities and foreign policy imperatives have influenced its relationships with trading partners and how these partners have played an important part in its economic and social transformation.</p> <p>The course is designed for SMU students who seek a deeper understanding of Singapore's metamorphosis. It will appeal especially to international and exchange students who may be puzzled by Singapore's distinctive blend of market freedom and state interventions to promote economic growth and social harmony.</p> <p>The course is organized around a series of talks by policymakers, analysts, business leaders and diplomats. Participants will write essays or develop projects on the multi-faceted interactions of a chosen country/region with Singapore. The objective is to produce in mid-2015 a book of essays that addresses the place of Singapore in the world today and how that world has shaped through ideas, trade and cultural links Singapore's self-image and identity.</p>
試験・課題など	<p>Two Short Essays (500 words each) One Long Essay (3000 words) Class Participation 20% Two Short Essays 30% Project Paper and Presentation 50%</p>
感想を自由記入	明治政経における、学部間共通総合講座のようなもの。歴史家、在シンガポール大使(日本、韓国、インド…)等が毎回訪れ、講義をしてくれる。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	<p>学内選考後も継続して TOEFL 対策</p> <p>明治日本語研修プログラムのサポーターを務める (留学に直接結びつくかは別として、個人的には非常に得るものが多かったので、オススメです)</p> <p>2月下旬 SMU より出願案内が届く (後期成績通知表が必要なので、4月まで出願できない)</p>
4月～7月	<p>新規に中国語を履修(シンガポールの公用語)</p> <p>4月中旬 SMU へ出願(4/30 期限) 4月下旬 JASSO 奨学金申請</p> <p>5月初旬 SMU から奨学金プログラムの公示 5月中旬 上記奨学金の申請 5月下旬 JASSO 奨学生合否発表(合格)</p> <p>トップスクール(政経主催)受講・シンガポールに関する書籍の読書</p> <p>6月上旬 明治大学外国留学奨励助成金プログラム公示 SMU から正式に入学許可 シンガポール学生ビザの申請&料金支払(インターネット経由)</p> <p>6月中旬 明治大学外国留学奨励助成金の申請 留学願を提出(政治経済学部事務室) 往路航空券購入</p> <p>6月下旬 明治大学指定海外旅行保険の加入 大学寮に申込(先着順) オリエンテーション申込(先着順(必須有)・無料) ゼミ指導教員と履修相談 政経学部教務主任と面談 履修登録に関する連絡 現地のビザ取得・健康診断・学生証引換に関する連絡</p> <p>7月上旬 留学オリエンテーション(学内) 留学カウンセラーと面談(留学の目的・不安点を相談) 大学提携寮当選(EVAN HOSTEL)※申込せず ホステルの予約 Completion of Student's Pass Formalities(ビザ)予約</p> <p>7/8-10 Online matriculation (種々入学手続)</p> <p>7月中旬 復路航空券購入</p> <p>7/17 オリエンテーションに関する連絡 雑費支払に関する連絡&支払</p> <p>7/22 履修登録(第1回目)</p> <p>7/31 TEMASEK FOUNDATION LEARN PROGRAMME 2014 @ SMU(SMU 奨学金プログラム)合格通知</p>

8月～9月	8/4 出国(羽田→上海) 8/6 入国(上海→チャンギ)(現地入り最終期限) 8/7 Student's Pass 取得(現地でのみ可)/ 入寮 8/11 学生証受取り(各自時間指定有り) 8/13 IR Program Orientation@Sentosa Island M: 留学開始の報告提出・ 学部事務室/国際事務室に履修登録の報告 在留届提出 8/14 オリエンテーション(大学生活について)、銀行口座開設 8/15 オリエンテーション(履修等について) 8/16 City Tour (事前申込・先着順) 8/18 Term1 開始 8/22 VIVACE(日本の新歓のようなもの) 8/23 Food Trial
10月～12月	8-11 月 通常授業 12 月 冬休み ミャンマーとインドネシアに旅行へ行きました。
2015年 1月～3月	1-4 月 通常授業
4月～7月	5 月 夏休み ベトナム、カンボジア、タイへ旅行に行きました。 5/24 帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	多様な価値観を体験、語学力の向上
留学のためにした準備, しておけば良かったと思う準備	した準備: 継続した語学の学習、会計基礎知識(自分の専攻、興味)の会得、トップスクール受講 しておけば良かったこと: シンガポールで取れる単位は非常に少ない(留学通して約 16 単位)ので、留学までできるだけ単位を取ったほうがよいと思います。
この留学先を選んだ理由	・将来東南アジアで働くことに興味があったこと (ゼミでもアジアの政治経済に関することを学んでいます) ・シンガポールはアジアの中でも特に金融の中心であったこと ・SMU はビジネスに特化した大学であること ・SMU は米国式の大学で、非常に competitive だと聞いていたこと などです。
大学・学生の雰囲気	SMU は他国、他大学と比較しても勉強に熱心な大学です。 そのため、クラブ活動、サークル活動は物足りなく感じるかもしれません。
寮の雰囲気	上述の通りです。
交友関係	これは各人異なると思いますが、寮に入ることで、自然と友人が増えていきます。地理的な関係で、アジアからの留学生が非常に多く、友人はできやすいと感じました。
学習内容・勉強について	上述の通りです。 SMU は交換留学生に対して甘いところがあるので、自分次第では手を抜くことも可能です。裏を返せば、インターン、ボランティア、クラブ活动等、他国への交換留学生とは一味違った留学生活が送れます。
課題・試験について	試験だと時間制限があり不利になると感じたので、レポートのみの授業を選びました。履修の組み方も、よく検討してください。
大学外の活動について	インターンシップ、サークル、課外プログラム等、前期は時間があるときは積極的に参加していました。
ある平日のスケジュール	0730 起床 0830 大学着、自習 1130 昼食 1200 授業 0300 自習 0600 友人と夕食 0900 帰宅 2200 自由時間
ある休日のスケジュール	0900 起床、朝食 1000 洗濯、部屋掃除等 1100 友人とプール(サマーランドのようなところ) 1700 友人と韓国焼肉 1900 友人とバー 2200 帰宅 2300 就寝
留学を志す人へ	【留学が決まるまで】 ・そもそも留学ってどんなもんかな、と思っている人は政経学部主催のトップスクールを受講してみるといいと思います(他学部の生徒も履修できます。成績を下げたくない人は聴講という身分をオススメします)。文字通り、「馬鹿みたい」に課題を出されるのですが、「馬鹿じゃねえの」と思いつつも、一応なんとかやり遂げられれば留学に行っても問題ないと思われますし、留学先での授業がどのように進むかも体験できるので、予め準備・対策ができます。 ・他の留学形態はよく知らないのですが、大学間協定校留学を利用すると JASSO から奨学金が貰える(GPA が低くなければ)ので、上記の支出表を見てもらえば分かる通り、実質ほとんど自分の負担なしで1年間留学へ行けてしまう素晴らしい制度です(明治の通常の学費は払います)。また、協定校なら留年しなくても卒業できるので、その心配も要りません。こんな待遇のいい留学の機会は、何かよほどの能力を持った人以外、他にはないでしょう。ちょっとでも興味があれば募集しない手はないと思います。留学へ行くことでのマイナス面は私の思いつく限りありません。 ※これは 2014 年度の話なので、今後どうなるかはご自身で事務室に確認してください。

学内選考では、英語のスコアさえ基準に達していれば、あとは熱意、そして学習の具体的な計画が可否のポイントだと感じました。GPA・語学力の優劣はあまり他候補者と差がつくポイントではない印象を受けました。

【留学が決まったら】

・留学に関する情報収集(出願、履修、住居、ビザ、持ち物 etc…)は意外と時間がかかります。留学までにしなければいけないことが、時期ごとに様々だからです。明治での前期考査の時期は、留学の直前期とも重なるため、そこそこ忙しいです。GPA を気にしている人は、予めテスト、レポートの数等を調整し、履修を組むことをお勧めします。

(各月オススメの考えておくこと)

12月

・行くまでの英語の勉強をどうするか(明治のカウンセラーと相談)

4月

・具体的にどの授業を履修したいか(明治での履修状況、明治との単位互換、課題の多寡等を考慮に入れて)

・シンガポールで「勉学」以外に何がしたいのか ex.旅行? インターン? 新たな外国語学習?

出国日、帰国日はいつにするか・どこ経由で行くか・いつ買うか

6月

・誰と留学前に会っておくか(友人・先輩等)

・どこに住むか。寮以外ならどこがいいか。

・ビザ用の検診は日本で受けるのか、現地で受けるのか

7月

・履修計画を確実に

・なにを持っていくか

【奨学金】

・日本学生支援機構からの奨学金(総額 ¥800,000)は本学協定校留学予定生のGPA 上位(出願年度のみ)から選ばれる(本年度 25 / 50 人程度)ので、GPA に気をつけてください(JASSO の基準では S と A は同評価なので、A を取りまくってください)。80 万円貰えるか貰えないかは非常に大きな違いだと思います。

参考: 3.22(私の明治における出願年度 GPA(2 年次のみ))

・明治大学から頂ける助成金は申請時点で入学してからの通算 GPA2.0 以上が条件です。

【★履修登録】

7 月下旬に第一回目の履修登録(交換留学生のみ)がありました。今回の履修制度は、交換留学生が2グループに分けられ、割当てられた日に先着順で履修を組み、希望する授業が取れなかった人の為に2日目は第2ラウンドとして全留学生に履修のチャンス(初回よりも割当が極端に減る)が与えられる、というシステムです。

履修登録する日を①か②に指定され(私の場合 7/22)、シンガポール時間の朝9時に開始されたのですが、ほとんどのクラスは開始数十秒、遅くても数分のうちに満席となっていました。これは、明治大学と異なり、ほとんどの授業がゼミのように限られた人数で行われるためです。予め争奪戦になるだろうと(あざとく)予想していた私は、下調べ(履修のプロセス・取りたいクラスの番号、曜日・自分の中での優先順位等)を入念に行ない、9時ちょうどには履修登録できるように準備していました。そのため運も味方につけ、第一、二希望の履修は成功しましたが、第三希望は定員オーバーで履修できませんでした。これは、ものの1、2分での出来事でした。Facebook では多くの交換留学生が、「興味があり、かつ空席のある授業が一つもない」と嘆いていました。

また、何人かの学生が「履修登録に進もうと思ったら、システムに拒否された」と嘆いていたのも記憶に残っています。私は念のためにメディア自習室で大学の PC を使用しつつ、自分のラップトップでも念のため履修画面を開いておきました。実際、一つは登録中にシステムがフリーズしてしまったので、保険をかけておいてよかったと感じました。

特に人文科目に興味のある方は、SMU で開講されている多くの授業は経営、法律、経済等の科目(経営大学なので当然のことではあるが)であるため、選択肢が非常に限られていることに留意してください。興味のある授業が履修できないとなると、留学の意義・楽しみが半減してしまうと思います。

	<p>【LEARN PROGRAMME 2014 @ SMU】 7/31 合格通知 8/4 寮の申込</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・交換留学生は週16時間まで働くことが許されています。 ワーホリの許可が下りるのは世界大学ランキングで 200 位までの大学で、残念ながら明治大は含まれていません。この機会を逃すと、シンガポールで合法に働く機会は就職するか赴任するしかないので、是非検討することをオススメします。・国際関係事務室には色々とお世話になりましたが、基本的に十分な対応をしていただけるとはあまり望まず、自分で責任を持って対応することが必要になると感じました。 <p>この留学報告書は、留学後に書こうと思っても、書類が見当たらなかつたり、思い出せなかつたりと記入が雑になりがちです。(中期留学時の体験談)学内選考を通過したら、明治の HP からダウンロードして、随時記入しておくことをお勧めします。</p> <p>私が留学する際には、5 年前のものが 1 人分あるのみで、その報告書も内容的に乏しいものであったので、非常に情報収集に困り、他大学(早稲田、慶應)の友人に頼んで留学報告書を見せてもらいました。報告書が充実した内容になるよう気を遣ってあげられると、将来の後輩にとっても助かると思います。</p> <p>SMU への交換留学に興味がある方・決定した方は、お気軽にご連絡ください。 Email: mikihikotahi@gmail.com</p>
--	--